

第30回神戸市民救急ボランティア総会

FAST代表者会

2025年11月30日（日）
10時30分～12時00分

1. 開会挨拶

2. 出席職員紹介

3. 情報提供

- ・ 市民救命士講習の実施状況
- ・ 市民救命士の養成に関する実施要綱の改定について
- ・ JRC蘇生ガイドライン2025について
- ・ 講習の指導方法について
- ・ 市立中学における市民救命士講習

4. 意見交換

5. 閉会挨拶

I. 市民救命士講習の実施状況

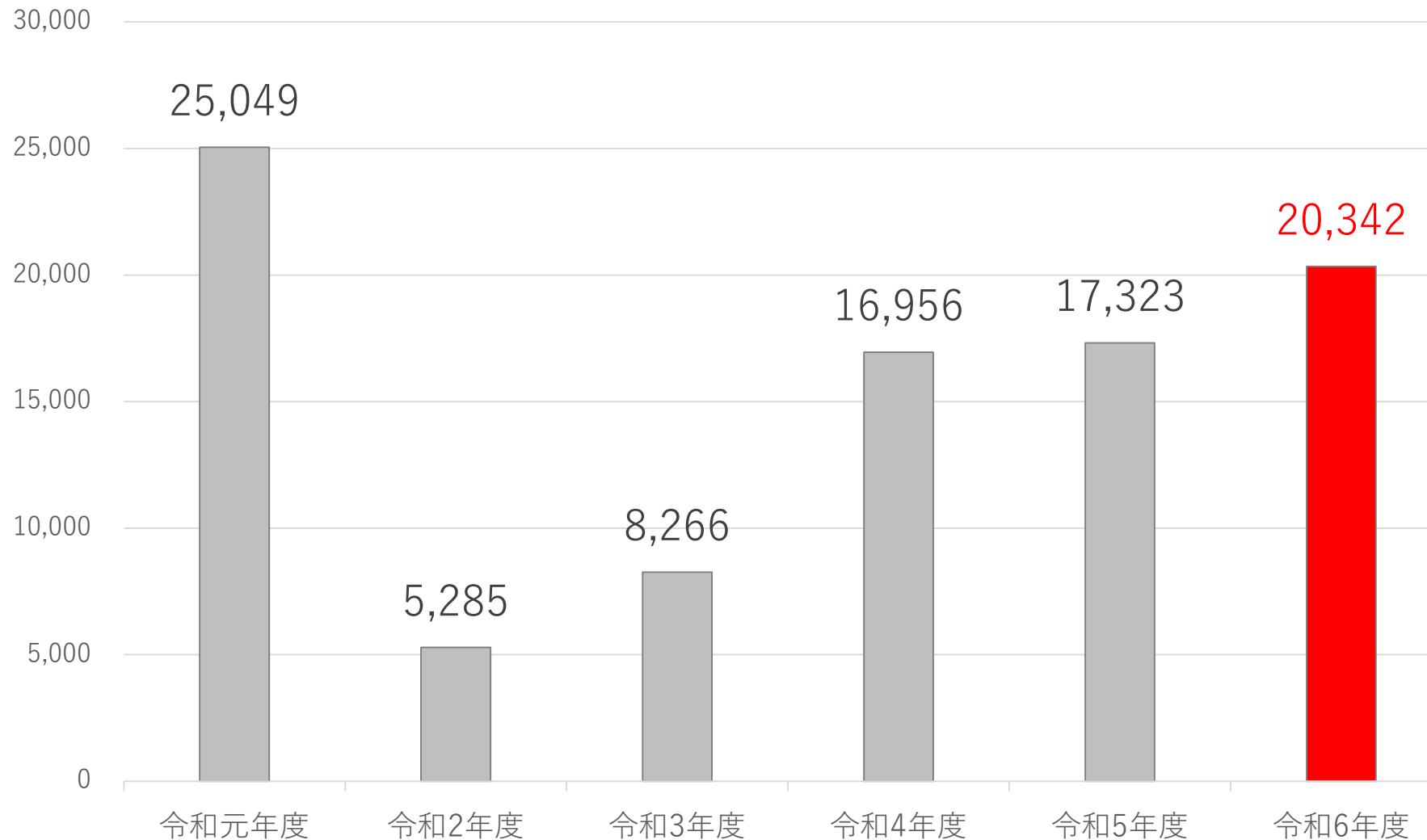
2. 市民救命士の養成に関する実施要綱の改定について

3. JRC蘇生ガイドライン2025について

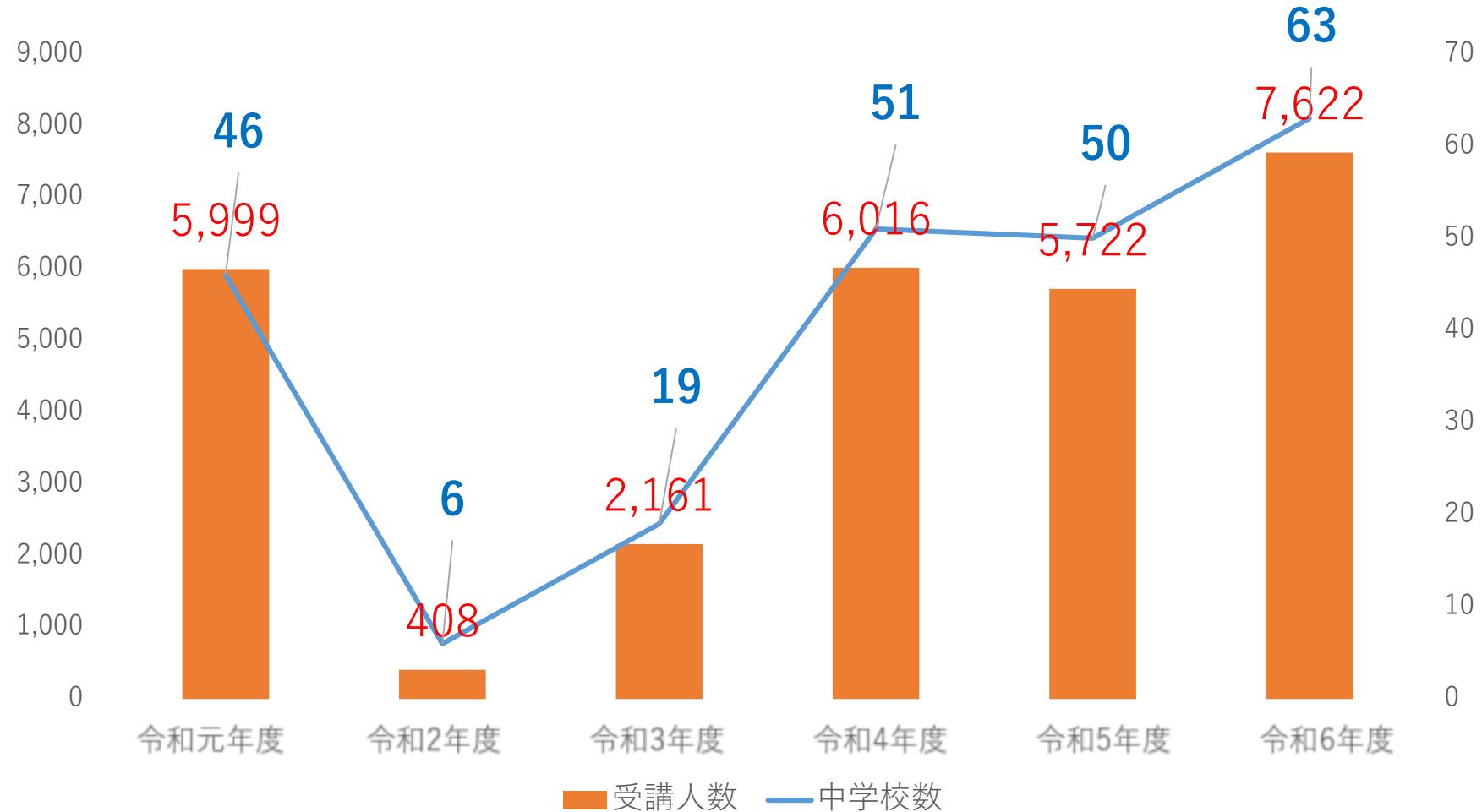
4. 講習の指導方法について

5. 市立中学における市民救命士講習

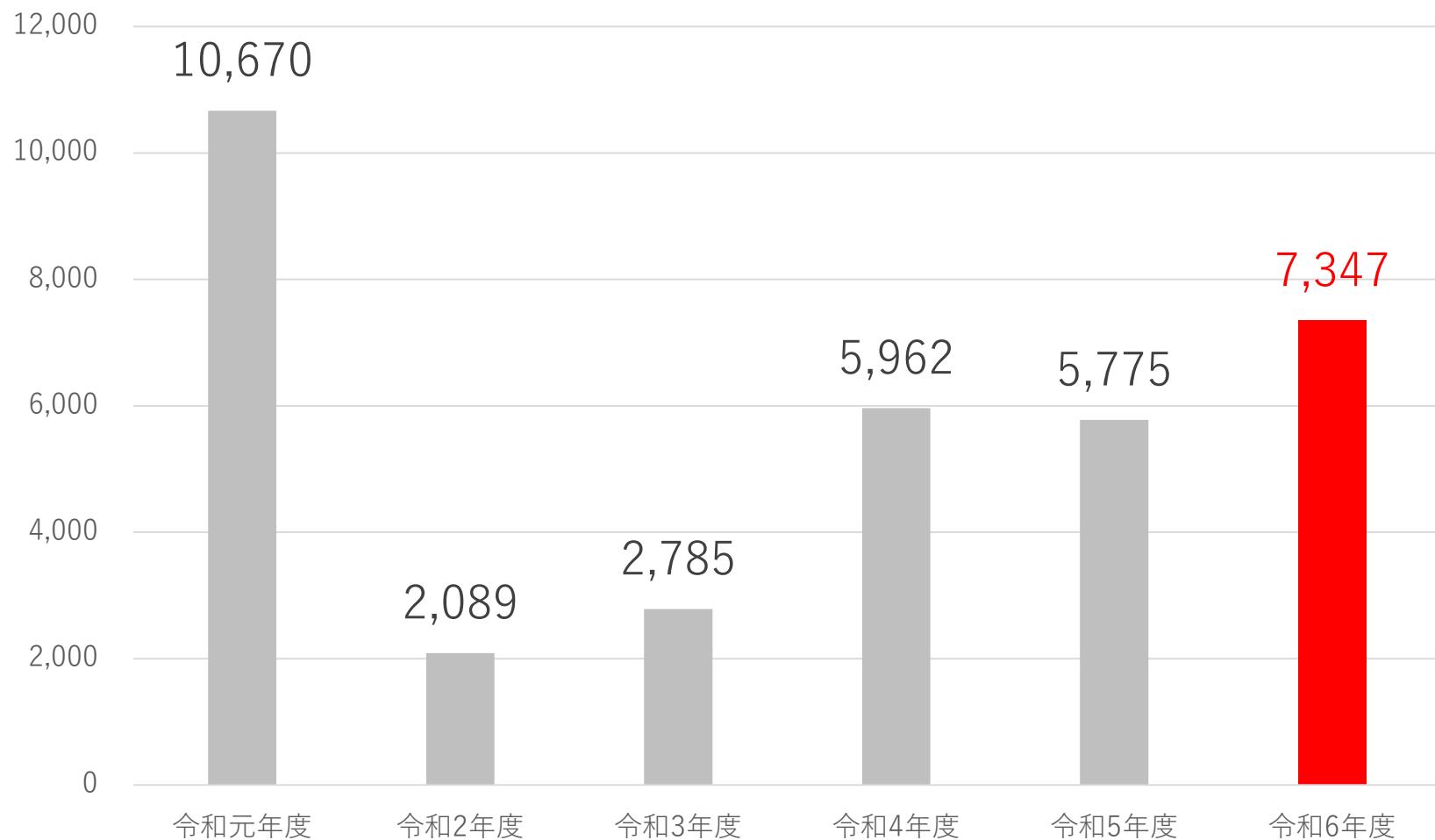
市民救命士講習 受講人数の推移



市民救命士講習（市立中学校）の推移



FASTによる市民救命士講習の実施状況



1. 市民救命士講習の実施状況

2. 市民救命士の養成に関する実施要綱の改定について

3. JRC蘇生ガイドライン2025について

4. 講習の指導方法について

5. 市立中学における市民救命士講習

市民救命士の養成に関する実施要綱・細則

・神戸市スマート申請システム（e-KOBE）による受付を開始

（救急インストラクター）再講習免除申請書（様式第4号）

（救急インストラクター等）認定証（再）交付申請書（様式第13号）

民間救急講習団体更新申請書（様式第6号の2）

民間救急講習団体（認定・変更）申請書（様式第6号第7号）

民間救急講習団体認定取消届出書（様式第9号）

市民救命士講習実施結果報告書（様式第17号）

市民救命士講習申込書（様式第14号）

手続き一覧（個人向け）

手続き一覧（事業者向け）

ヘルプ

よくあるご質問

ログイン

新規登録

e-KOBE：神戸市スマート申請システム

もっと便利に。
もっと簡単に。

神戸市では行政手続きの受付がインターネットで行えます。
このサービスを通して皆様の生活をもっと便利に。もっと簡単に。

スクロール
▼

民間救急講習団体更新申請書（様式第6号の2）

- ・認定期間終了日の3ヶ月前から受付けます。
- ・認定期間が1年間 延長されます。
- ・更新の認定証の交付がなくなります。

1. 市民救命士講習の実施状況

2. 市民救命士の養成に関する実施要綱の改定について

3. JRC蘇生ガイドライン2025について

4. 講習の指導方法について

5. 市立中学における市民救命士講習

人工呼吸と胸骨圧迫の比率の歴史

年代	比率	主な特徴・背景
1960年頃	明確な比率なし	初めて、人工呼吸と胸骨圧迫の組み合わせ
1970年代	5:1 (圧迫5回:呼吸1回)	初期のガイドライン。1人法でも2人法でもこの比率 60回／分の速さ
1980年代	15:2 (1人法)、5:1 (2人法)	1人で行う場合は15:2、2人で行う場合は5:1
2000年	15:2 (全年齢)	ガイドライン2000 AEDの普及とともに市民向けCPRが進む
2005年	30:2 (全年齢)、AEDの使用	胸骨圧迫の中斷を最小限にするため、圧迫回数が増加 脈拍の確認が無くなる
2010年以降	30:2 (基本) +ハンズオンリーCPR	胸骨圧迫→気道確保→人工呼吸の順序導入

心肺蘇生ガイドライン

- ・心肺蘇生法：CPR (Cardio Pulmonary Resuscitation)
- ・「JRC蘇生ガイドライン2025」 ←ガイドラインの名称
日本蘇生協議会 (Japan Resuscitation Council)

- ・2025年10月にWeb版
- ・2026年3月に書籍版



1. 市民救命士講習の実施状況

2. 市民救命士の養成に関する実施要綱の改定について

3. JRC蘇生ガイドライン2025について

4. 講習の指導方法について

5. 市立中学における市民救命士講習

留意してほしい点 Ⅰ

- ・目的は、救命のために動くことができる人を増やす
 - ・受講することで、救命のために動くことができます
1. 意識がないとき ⇒ 119通報 + AED手配
 2. 正常な呼吸がない ⇒ 胸骨圧迫 + AED

留意してほしい点 2

- ・受講者は、体を動かすことで覚えます
- ・説明は必要ですが、話を聞くのは別の機会に
⇒マネキンを体験する時間・回数を長く・多く

留意してほしい点 3

- ・記憶に残るように

- ⇒シリアルでなくて良い

- ⇒嫌な思いは本末転倒

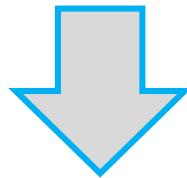
- ・無意識のハラスメントにも注意してください

- ⇒受講者の身体に触らない（必要であれば許可を得る）

- ⇒男は…女は…など固定観念や差別的発言はしない

今後の検討

- ・<ガイドライン2025>
標準指導要領（手順）の作成
- ・訓練用マネキンを充実させる（人工呼吸の実施）



市民救命士講習の質を上げていく！

＜まとめ＞ 講習の指導方法について

1. 救命のために動くことができる人を増やす
2. 体験時間・回数を長く・多くして学ぶ
3. 体を動かすことで記憶に残りやすい
4. 指導が良いと受講内容を覚えやすい
5. ハラスメントにも注意してください

皆さんのご協力をお願いします！

1. 市民救命士講習の実施状況

2. 市民救命士の養成に関する実施要綱の改定について

3. JRC蘇生ガイドライン2025について

4. 講習の指導方法について

5. 市立中学における市民救命士講習

昨年からの変更点

- ・総合的な学習の時間
⇒ 「市立中学校における市民救命士講習」
- ・実施校が増加しています（約70校）

昨年からの負担軽減のための変更点

【ボランティア】

- ・指導に参加の回答はインターネットです
- ・参加を登録した方には、「参加依頼」もしくは「支援の必要が無くなった」について連絡があります
- ・連絡は郵送・電子メール
- ・生徒名簿の作成はありません

【FAST】

- ・消防署から中学校にFASTを紹介します
- ・指導は、「FAST単一」、「複数FAST」、「ボランティアとの混成」
- ・ゲストティーチャー制度は、ボランティアと同様に支払われます

市民救命士講習について（普通救命コース180分の概要）

おおまかな流れ



- ・実技指導の前
- ・学校の教員が実施
- ・生徒10人につき指導員1人
- ・指導員は消防局が認定する
 - ①神戸市民救急ボランティア
 - ②民間救急講習団体（FAST）
例：地域の消防団などが担います

主な役割分担

消防局

- 市民防災総合センター
- ・資機材の貸出・実技指導実施日の調整

所轄消防署

- ・FASTの紹介

各中学校

- ・指導員の依頼
- ・講義（座学）の実施

教育委員会

学校教育課

- ・説明会の実施

教育人材センター

- ・ゲストティーチャー制度による謝礼支払

実施に向けた手順（学校が行うこと）

【実技指導の1～2か月前】

2. 実施に向けた調整

- ・所轄消防署の救急係長に、実施にあたっての注意点や提出書類などを確認

・指導員の依頼

（1）神戸市民救急ボランティアに指導員を依頼する場合

消防局から送られてくるボランティア名簿に掲載されている

指導員候補者に直接連絡して人数を確保

（2）FASTに依頼する場合

所轄消防署に相談し、紹介を受けてから団体に依頼

・書類の送付（郵送またはEメール）

（1）参加が確定したボランティアまたは団体向け

「依頼文、各種情報」

（2）所轄消防署向け

「中学校における市民救命士講習実施計画書 兼 資器材借用書」

3. 使用する物品の準備

- ・所轄消防署に市民救命士講習テキスト、講習用DVD、市民救命士講習修了証から渡す
- ・受講生徒分の人工呼吸用マウスピースを購入

講習指導時の注意事項

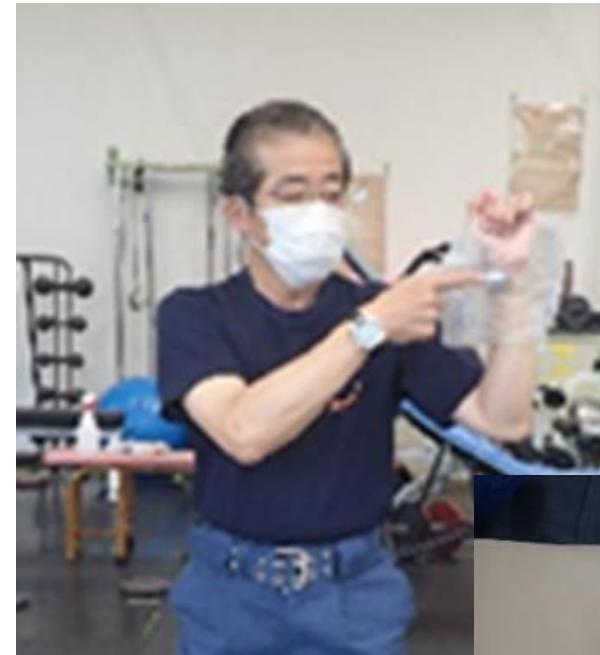
- 発熱や体調不良がある場合、無理をせず体調不良により欠席する旨を学校に連絡して下さい。
- 講習会場の学校に到着してから、控室等での大きな声での会話はお控えください。
- トイレの後など、講習中はこまめな手洗いや手指の消毒をお願いします。

マウスピースの説明と使用方法の説明

人工呼吸用マウスピースの使用方法

(広げ方、逆流防止弁のこと、傷病者への装着)

について指導し、生徒にも人形へ装着
させるまでは実施して下さい。ただし、
インストラクター及び生徒とともに
マウスピースに口を付けないように
して下さい。



人工呼吸の指導について

人工呼吸の方法についての説明は実施していただきますが、呼気の吹込み後の胸骨圧迫によるエアロゾルの発生を防止するため、実際に呼気を吹き込まず人工呼吸を行うポーズのみ実施して指導して下さい。また、生徒についても同様にマウスピースに口を付けず人工呼吸のポーズのみ実施させてください。



AEDトレーナーの注意事項



オレンジの蓋を無理に
閉めないでください！
簡単に割れます！
(修理：数万円)



コードを巻き付けない
でください（断線！）
(購入：数千円)



AEDを組み合わせた心肺蘇生の指導について

骨
み
法

今年度の総会で説明させたいいただいた指導方法と昨年に神戸市民救急ボランティアの皆様に送付させていただいた講習に関する注意事項の資料について、齟齬がありましたので修正をさせていただきます。

次のページをご確認ください。

AEDを組み合わせた心肺蘇生の指導について

AEDを組み合わせた心肺蘇生法は、AEDを持ってきた人が使用できない場合に備えて、1人法（AEDの操作と胸骨圧迫を1人で行う方法）ができるようになることが必要です。

しかし、講習時間が限られていることやAEDの準備中も胸骨圧迫を継続できることから、AEDの操作と胸骨圧迫を2人で行う方法を指導することも可能です。

人工呼吸と胸骨圧迫を2人で行う方法を「2人法」と呼ぶため、違いに留意してください。

異物除去の指導について

背部叩打や腹部突き上げ法など異物除去については、インストラクターと生徒での実演や生徒同士での実技は行わず、指導者が人形を使用して説明するかテキストでの指導にとどめて下さい。

回復体位について

回復体位についても、指導者自身で態勢をとって見本をみせるか、テキストでの説明にとどめて下さい。